

施策マネジメントシート(2018年度の振り返り、総括)

作成日 2019 年 6 月 17 日

基本目標	V	地域をささえるひとづくり	主管課	名称 観光商工課 課長 宮崎 育雄
施策	25	交流連携の推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図	
						基本事業
①町外の人・団体 ②町民		町に魅力を感じ、相互のまちづくりに協力する。	1	交流連携機会の創出	町内外の人・団体	幅広い分野に交流機会を提供する。
			2	交流連携の強化	交流連携している町内外の人・団体	交流人口を増やししながら、信頼関係を深化させる。
			3			
			4			

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・提携団体数を増やすことから、交流事業内容の深化へと考え方をシフトし、密な交流が図れるよう検討します。 ・交流をおこなう双方にとって効果的な交流のあり方を考え、実行に努めます。
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結している町民の割合	%	実績値	実績なし	54.0	53.7
			目標値		25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0
B	友好協定を締結している団体と交流したところのある町民の割合	%	実績値	実績なし	5.9	7.8				
			目標値		10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0
C	友好協定都市住民でみなかみ町を知っている人の割合	%	実績値	実績なし	-	-				
			目標値		65.0	70.0	70.0	75.0	75.0	80.0
D	友好協定都市住民でみなかみ町を訪れたところのある人の割合	%	実績値	実績なし	-	-				
			目標値		5.0	10.0	10.0	15.0	15.0	20.0
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは、みなかみ町が以下の企業や自治体等と連携協定や、友好都市協定を締結していることを知っていますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは、友好都市との交流事業に参加したことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 交流イベントの際にアンケートを実施して把握</p> <p>D) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 交流イベントの際にアンケートを実施して把握</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) これまでの連携協定・友好都市協定の締結や、交流活動等が今後徐々に町民に知れ渡っていくと推測し、2022年度には2人に1人が認識していると考え、目標値を50%とする。</p> <p>B) 連携協定・友好都市協定の締結が広く知れ渡ることにより、自ら交流しようと行動に移す町民が微増していくと推測し、2022年度には5人に1人が何らかの交流に取り組むと考え、目標値を20%とする。</p> <p>C) 友好協定都市との交流イベントには継続的に取り組んでいることから、友好都市住民には広く認知されていると推測し、2022年度には80%を目標とする。</p> <p>D) 交流イベントに積極的に取り組んでいることにより、本町を訪れようと行動に移す友好都市住民が今後微増していくと推測し、2022年度には5人に1人が来訪したことがあると考え、目標値を20%とする。</p>
-----------	--

施策のための目的・目標達成	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流事業に積極的に参加し、交流相手に町の魅力等をPRする。 ・交流事業をきっかけに知り合った相手や団体等との交流を継続させ、参加していく。 	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民及び町内の団体等に対し、交流する機会を提供し、交流事業を支援する。 ・交流を通じてまちづくりを積極的に行う、または関心を持つ人材を育成し、人的ネットワークを構築する。 ・交流が継続し、より発展していくよう支援する。
---------------	--	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既締結団体等との交流内容が変更していく可能性がある。具体的に言うと、自治体では「防災協定」締結の動きが出ている。企業とは経済状況・社会情勢等に左右される心配がある。 ・海外との交流は、2020年の東京オリンピック開催までインバウンドを中心に活発化すると思われる。 ・日本全体で東京オリンピックに向けて国内外の交流を活発化させていく傾向にある。 	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とくに台湾台南市とはインバウンド事業が好調なため、積極的に継続していくことを望んでいる。 ・国内の自治体に関しては、観光に留まらず幅広い分野での交流が望まれている。 ・議会からは活発な交流を継続して欲しいとの声がある。 ・スポーツによる交流連携が求められている。
-----------	--	--

施策	25	交流連携の推進	主管課	名称	観光商工課
				課長	宮崎 育雄

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合は、平成29年度54.0%となり、平成30年度は53.7%で0.3ポイントの減となった。 ②友好協定を締結している団体と交流したことの町民の割合は、平成29年度5.9%となり、平成30年度は7.8%で1.9ポイントの増となった。 ※連携協定を締結している団体と協定締結年度 東京藝術大学(平成20年度)、株式会社デサント(平成23年度)、三国コカ・コーラボトリング株式会社(平成24年度)、オークヴィレッジ(平成30年度) ※友好協定を締結している団体と協定締結年度 さいたま市(平成16年度)、取手市(平成21年度)、聯合國際学院(平成22年度)、東京都中野区(平成24年度)、台湾 台南市(平成25年度)、長榮大学(平成25年度)、麗澤大学(平成27年度)、三宅村(平成28年度)、伊奈町(平成29年度)
		② 他団体との比較	①企業との連携で先駆的な取り組みは、山形県がヤマト運輸株式会社ならびに株式会社ANA総合研究所と3者による「県産品の国内外への販路拡大に向けた連携協定」を締結し、県内の生産者や事業者に対し、国内外展開に有益な販売ルートを提供するなど県産品の販路拡大に向けて取り組んでいる。(H28年12月) ②大学との連携は、川場村が東京農業大学と、村における地域活性化と同大学の教育・研究の充実へ寄与することを目的に包括連携協定が締結されている。 ③近隣市町村における国内交流事業においては、川場村と世田谷区、昭和村と横浜市、沼田市と新宿区などの交流事業が展開されている。 ④町は友好都市として国内でさいたま市、取手市、東京都中野区、伊奈町及び三宅村の1区2市1町1村、海外で台南市の1市。ほかに施設設置されている自治体は、千葉市による高原千葉村の閉鎖により、川口市の1市となっている。 ⑤群馬県商工会連合会と町が連携して販路開拓のために、台南市との物産交流調査を継続的に実施している。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合は53.7%で、目標値を23.7ポイント上回った。 ②友好協定を締結している団体と交流したことの町民の割合は7.8%で、目標値を4.2ポイント下回った。 ③友好協定都市住民でみなかみ町を知っている人の割合及び友好協定都市住民でみなかみ町を訪れたことのある人の割合については今後調査を実施していく。

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1	交流連携機会の創出	回	実績値	28	46	28
	A	交流事業の回数	実績値							
	B		目標値		28	28	28	30	30	30
			実績値							
			目標値							
2	交流連携の強化	人	実績値	160	169	124				
	A	交流事業への町民の参加者数	実績値							
	B		目標値		160	160	170	170	180	180
			実績値							
			目標値							
3			実績値							
	A		実績値							
	B		目標値							
			実績値							
			目標値							
4			実績値							
	A		実績値							
	B		目標値							
			実績値							
			目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 交流連携機会の創出	①連携団体との連携事業における町民参画の機会提供 ②友好都市との交流事業における町民参画の機会提供	①連携団体の活動を町民に広報し、連携企業との連携活動への参加を促す。 ②東日本連携の仕組みを活用するとともに台南市への町民旅行を企画し、友好都市との交流事業に町民の参加を促す。
2 交流連携の強化	①連携団体との連携事業を町民や相手先企業内へ啓発する取組 ②友好都市との交流事業について物産交流からの人的交流への拡大	①連携団体との取組内容を広報等の媒体を使って周知する。相手方の団体内においても町のイベントに招聘するなどして「みなかみ町」を知ってもらう取組を行う。 ②友好都市との間でビジネスマッチングの機会を設けるなど、多様な分野で人的な交流ができる仕組みを協議し事業を行っていく。
3		
4		

25_交流連携の推進

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 6 月 21 日更新)

事務事業	000005	全国水源の里連絡協議会参画事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	30,000 円		
施策体系	施策	25	交流連携の推進			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	01	交流連携機会の創出					協議会等出席回数			
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流推進	係	協議会の各事業へ参画する。	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	2		項	1	目	7
課題なし								1	1	回	

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 6 月 21 日更新)

事務事業	000006	利根川源流水源地域ビジョン事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,121,416 円		
施策体系	施策	25	交流連携の推進			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	01	交流連携機会の創出					協議会等出席・開催回数			
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流推進	係	水源地域の活性化のための新規活動の策定及び現在行われている活動を継続していく。	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	2		項	1	目	7
事業を進める上で国へ事業予算を確保することが求められる。また、コンサル委託費の予算を町に一括交付金(補助金)としてイベント助成してもらう方法を協議することも考える。								14-15	14-14	回	

平成 30 年 8 月 7 日作成 (令和 元 年 6 月 7 日更新)

事務事業	000007	高原千葉村施設等活用事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	22,943,453 円		
施策体系	施策	25	交流連携の推進			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	01	交流連携機会の創出					千葉市との協議実施回数			
根拠	無	組織	観光商工	課	商工振興	係	民間活用による運営を目指す。	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 H 26 ~ 年間		会計	1	款	2		項	1	目	8
平成25年8月30日、千葉市長より「千葉市高原千葉村の譲渡について」が提出され、地元や議会に情報提供しつつ、本施設の譲渡に伴う運用や活用について調査検討する。								5	3	回	

平成 30 年 7 月 30 日作成 (令和 元 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000008	地域づくり事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	368,940 円		
施策体系	施策	25	交流連携の推進			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	01	交流連携機会の創出					負担金等支払い件数			
根拠	無	組織	総合戦略	課	企画	係	特になし。	平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	2		項	1	目	7
								6	7	件	

25_交流連携の推進

平成 30 年 8 月 16 日作成 (令和 元 年 6 月 21 日更新)

事務事業		000009		スポーツ・健康まちづくり推進事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		6,273,803 円	
施策体系	施策	25		交流連携の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	特になし		事業実績			
	基本事業	02		交流連携の強化						ハピネス計画賛同参加企業数 (デサント・東京藝術大学・三国ココローラ)					
根拠	無	組織	観光商工		課	観光交流推進		係	計画がスタートしてから6年ほど経ち、町も企業も担当者が代わり当初の考え方が上手く伝わっていない感がある。その中でも町民に企業名が透してきたり、事業が定着して来ている。	現状維持		平成29年度	平成30年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項					1	目	9	4